

令和2年度実質当初予算 危機管理監室主要施策の概要

◎予算編成のポイント

- ・ 東日本大震災など近年全国各地で頻発する大規模災害に備え、自助・共助からなる地域防災力を高めるため、防災士のさらなる育成・質の向上を図るとともに、県民一斉防災訓練や消防団の充実・強化、火山防災対策の推進など、防災対策の充実・強化に取り組む。
- ・ 原子力防災対策については、原子力防災計画に基づき、防災資機材の計画的な整備など、原子力防災体制の強化に取り組む。

◎重点主要施策の概要

- 自主防災組織のリーダーとなる防災士について、今後5年間で12,000人、女性防災士についても3,000人を新たな目標として育成に取り組むとともに、防災士のスキルアップ研修の実施に加え、新たに経験豊富な防災士による研修会を開催するなど、防災士活動の質の向上も図る。
- 大学等と連携し、学生が防災活動に参加する機会を創出することにより、若い世代の自主防災活動への参画を促進する。
- 県民一斉防災訓練（シェイクアウトいしかわ）や、「災害への備え」を促す防災キャンペーンを実施するなど、県民一人ひとりの災害対応力と防災意識のさらなる向上を図る。
- 活火山である白山の火山防災対策の着実な推進を図る。
- 住民の安全・安心を守る地域防災の要である消防団の充実・強化を図る。
- 原子力防災対策として、30km圏内の市町等において、防災資機材等の計画的な整備を行うなど、原子力防災体制の強化を図る。

令和2年度実質当初予算 危機管理監室主要施策の概要

◎ 主要事業

事業名	金額(千円)	説明
・ 防災・減災、国土強靱化の加速 (1) 災害に強いまちづくり・地域づくり		
・ 防災総合訓練費	1,665	防災総合訓練の実施(穴水町内) 大規模災害を想定し防災関係機関と地域住民等が一体となった訓練
・ 災害危機管理アドバイザー設置費	670	災害発生時の対応や平素の危機管理への専門的助言など
・ ㊦ 防災士倍増・資質向上推進事業費	35,925	自主防災力向上に向けた防災士育成体制の強化 ㊦ 防災士の育成目標数の引き上げ 31,800 千円 (8,000人→12,000人(女性防災士2,000人→3,000人)) ㊧ 経験豊富な防災士による研修会の開催 1,000 千円 防災士活動のスキルアップ研修の実施 2,855 千円 (地域での防災情報共有、避難所運営の実践等) 防災士表彰の実施 270 千円
・ 大学と連携した自主防災活動活性化事業費	2,400	学生の自主防災活動への参画促進に向けたフォーラムの開催、 大学と自主防災組織が連携したワークショップ・共同訓練の実施
・ 県民一斉防災訓練費(シェイクアウトいしかわ)	1,400	県民が各地で一斉に安全行動をとる「県民一斉防災訓練 (シェイクアウトいしかわ)」の実施 実施日時:令和2年7月8日(水)11時(予定)
・ 企業と連携した防災自助力強化事業費	3,400	協賛店舗での防災キャンペーンを通じた家庭内備蓄等の推進、 防災タウンページによる防災情報の周知
・ 白山火山防災対策費	5,000	登山届の提出促進に向けた周知啓発、スマートフォンによる 登山届の運用、火山防災訓練の実施など
・ 総合防災情報システム等管理運営費	157,003	総合防災情報システム管理 48,904 千円 防災行政無線等管理 108,099 千円
・ いしかわの消防団充実強化費	5,320	装備の充実 5,000 千円 救助資機材・安全装備品等の整備に対する助成 団員の確保等 320 千円 一斉広報キャンペーンの展開等
・ 消防防災施設等整備費	2,500	小型動力ポンプ・救急資機材整備等に対する助成
・ 航空消防防災体制運営費	176,728	消防防災ヘリコプター「はくさん」の運航 運航費等 157,385 千円 点検整備費 19,343 千円
・ ㊧ 消防防災ヘリコプター更新事業費	2,250,893	消防防災ヘリコプター「はくさん」の更新 (R3年春供用開始)
(2) 原子力防災体制の整備		
・ 原子力防災対策費	206,518	防災対策の強化 防災用資機材の整備、原子力防災訓練の実施、 緊急時連絡網管理等
・ 原子力安全対策費	650,069	環境放射線監視機器の整備 443,742 千円 緊急時放射線モニタリング機器の整備等 56,447 千円 環境放射線監視業務 144,880 千円 原子力環境安全管理協議会の運営 5,000 千円